



(最新の患者情報)

発生動向等サーベイランス情報

11~3月は「栃木県ノロウイルス食中毒予防推進期間」です！

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、冬季に多く発生する傾向があるため今後注意が必要です。高齢者では脱水症状を起こすこともあります。

＜予防・感染拡大防止対策＞

- ・食事の前やトイレの後などには、石けんと流水でよく手を洗う
- ・下痢や嘔吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない
- ・患者等の嘔吐物や排泄物を適切に処理し、感染を拡げないようにする

※ノロウイルスはアルコール消毒が効きにくいため、塩素系消毒液を使用する

▼嘔吐物や排泄物の処理方法
(栃木県HP)



★塩素系消毒液の作り方（以下の各濃度は次亜塩素酸ナトリウム濃度を示す）

消毒対象	希釈後の濃度	希釈法 (家庭用塩素系漂白剤(5%)を原液とした場合)
嘔吐物、排泄物等が付着した場所・物	0.1%	漂白剤 約10mL (ペットボトルキャップ2杯) + 水 500mL
ドアノブ、トイレの便座など	0.02%	漂白剤 約5mL (ペットボトルキャップ1杯) + 水 1L

※塩素系漂白剤の使用にあたっては、「使用上の注意」を確認してください

感染対策のポイント

シリーズ17：なおった後にも要注意！

ノロウイルスによる感染性胃腸炎にかかったことはありますか？屈強な成人でも突然の嘔吐・下痢で衰弱してしまうこの感染症は、高齢者では脱水や電解質異常、嘔吐に伴う誤嚥によって命取りになってしまうこともあるため、施設内流行を防ぐ努力が重要となります。

最大で1ヶ月以上にわたって便中にノロウイルスが排出されると報告されています。とくに発症前後から症状消失1日後程度まではウイルス量が多く、他者へ感染を拡げないように注意が必要です。ある程度改善して出勤する場合にも、食事介助など飲食物に触れる業務については、可能であれば他の方に代わってもらう方が良いでしょう。

感染症専門家からのアドバイス



ノロウイルス胃腸炎が流行している時期には、共用のトイレを使用する際にも注意が必要です。便座はもちろん、便器の蓋、トイレットペーパーのホルダーのカバー部分からもノロウイルスが検出されたという報告があります。トイレ使用時には手を顔に近づけず、直ちに手洗いを行いましょう。手洗いした後に触れるドアノブにもご注意！